

妙高高原南小

NO. 10 平成24年2月21日

毎日のように降り続いた雪は、今週に入り少し落ち着きそうです。学校は、14日・15日と業者が入り、延べ50人で校舎の雪下ろしをしていただきました。市教育委員会に感謝申し上げます。

スキー授業・課外、地域・保護者の皆様に感謝！

2月14日のスキー授業、17日の信越学童スキー大会をもちまして、学校としての今年度のスキー授業・課外は、ほぼ終了となりました。残すは、2月23日の全校アルペンスキー教室と3月2日の全校クロスカントリースキー教室の楽しい行事のみとなりました。(1・2年生はもう数時間行います。)今年度は、大雪の関係で練習が計画どおりに進まないことが多々ありましたが、子どもたちは持てる力を十分に発揮したとうれしく思っています。

毎年、スキー授業の季節になると南小の地域・保護者の力とまどりの良さを感じます。今年度、スキー授業にコーチとして参加していただいた地域・保護者の方は、延べ105人になります。今年度は、クロスカントリーの方にも保護者の方が毎回参加し、子どもの指導に当たっていただきました。コーチとして参加した方々の中にはお子さんが既に南小を卒業した方など、ご自分のお子さんが参加していないのに来てくださった方がたくさんおられます。また、大雪の中、毎回コースをつけていただいたり、仮設トイレを設置して下さったりと、たくさんの配慮をいただきました。校長として、また一人の社会人として頭の下がる思いです。たいへんありがとうございました。

ここ数年間、南小の職員数は減少しました。また、回りを見渡しても競技としてのスキーを教えることのできる小学校教員は、皆無に等しい状況です。児童の安全管理・スキー技術の向上を考えると、地域・保護者の皆様の協力は不可欠と考えます。ぜひ、来年度以降も南小を支えていただきたいと思います。よろしくお祈りします。

6年生のがんばりに拍手

6年生にとっては小学校のスキー競技の最終目標である信越学童スキー大会が終わりました。満足な結果を残した人、目標に届かなく残念な結果であった人、成績に対しての思いはそれぞれでしょうが、ここまでの6年生のがんばりには、心から賞賛の拍手を送りたいと思います。

6年生は人数の少ない中、アルペン・クロカンと分かれ5年生以下の部員をリードし、良くがんばりました。厳しい環境の中、一生懸命に取り組んだ姿は、必ず下級生に引き継がれていくものだと思います。

競技は、まだ続きますが、最後まで一生懸命取り組む姿を下級生に見せてほしいと願っています。